

草津市立玉川小学校 学校だより

4 つ の き

令和5年1月30日

第9号

玉川小学校長 住吉 厚志

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

うさぎ年は「飛躍」「向上」の年 ~3 学期始業式の校長の話~

全校のみなさんおはようございます。そして、新年あけましておめでとうございます。2週間という短い冬休みでしたが楽しい時間をたくさん過ごせましたか？家族みんなで出かけたり、一緒に遊んだりできましたか？クリスマスプレゼントやお年玉はもらいましたか？きっと、それぞれ普段は味わうことのできない楽しい思い出ができたことと思います。

さて、みなさん今年の干支、つまり今年は何に年か知っていますか。そう、みずのとう（癸卯）と言って今年がうさぎ年になります。うさぎ年について少し調べてみると、うさぎは穏やかで温厚な性質であることから、うさぎ年の一年は「家内安全」つまり、家族が平和で幸せにくらすことのできる年だそうです。また、うさぎは足の力が強く飛び跳ねることから、「飛躍」や「向上」する年ともいわれているそうですよ。

うさぎについてもう一つみなさんに質問をしましょう。うさぎの体の特徴の一つに耳がとても長いことがあげられますね。私たち人間よりも体の小さいうさぎが、私たち人間よりもはるかに大きな耳を持っているのはなぜでしょう？少し考えてみてください。

その答えは二つあります。一つは、草原で暮らすうさぎは近づいてくる敵の音をいち早くキャッチするために大きな耳をしているのだそうです。私たちも遠くの音を聞こうとするとこころがしますよね（耳の後ろに手のひらをもっていく）。それと同じだそうです。そしてもう一つは、体の熱を外に出すためだそうです。私たちは運動をすると汗とともに体の熱を外に出していますが、何と、うさぎは一切汗をかかない動物だそうです。そのかわりに大きな耳にあるたくさんの血管を、冷たい外の空気で冷やすことで、体の熱を下げるのだそうです。正解した人はいましたか？

先生は、今のお話を最初から知っていたかのように話しましたが、実はインターネットで調べて初めて知りました。思わず一人校長室で「へえ、そうなんや」とつぶやいてしまいました。そして、ちょっと誰かに話したくなり、今日こうしてみなさんにお話をしました。

もともと人間は、今まで知らなかったことを知った時にはうれしい気持ちになるそうです。そして、知らないことをたくさん知ることによって人として豊かな心を持つようになることある本に書いてありました。どうかなみなさんも、今年一年今まで知らなかったことをいっぱい勉強して、大きく成長する年にしてください。そして、新しく知ったことを校長先生に自慢しに来てください。楽しみに待っています。

では、3学期もみなさん元気に頑張りましょう。

これで校長先生の始業式のお話を終わります。

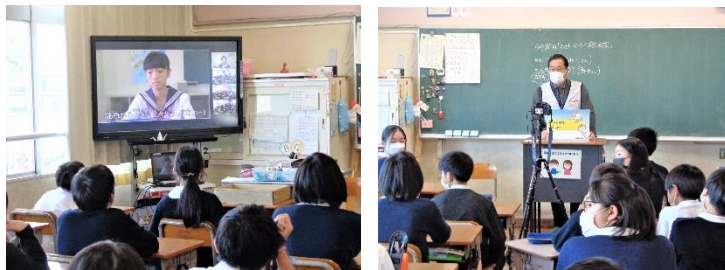


萩フェス(音楽発表会)

昨年12月15日(木)16日(金)に萩フェス(音楽発表会)が行われました。1年生から6年生まで各学年で2~4曲の合唱を披露しました。歌の練習を始めたころは声も小さく、歌詞すらも覚えていない状態からのスタートでしたが、本番当日まで何度も歌いこみました。16日は保護者の方にも参観していただき、練習の成果を見ていただきました。そして、その純粋で一生懸命な児童の歌声に、たくさんの保護者の方から賞賛のお言葉をいただきました。



5・6年生:スマホ・ケータイ安全教室



昨年12月、5、6年生の児童を対象にスマートフォンや携帯電話を安全に使用するための注意点を学ぶ安全教室が開かれました。当日は、NTTドコモの方とオンラインでつながり、使用時に起こりやすいトラブルについて教えていただきました。また、後半は滋賀県人権擁護委員の方にお越しいただき、トラブルが起こってしまった時の対処法について直接お話を伺いました。

3年生:盲導犬ユーザーさんのお話とボッチャ体験

昨年11月、3年生の児童に盲導犬ユーザーの方がお話をしてくださいました。盲導犬は厳しい訓練を受けた犬で、ユーザーの方をサポートする仕事をしていることなどを学びました。また、12月にはパラリンピック競技であるボッチャを、選手として取り組んでおられる方を講師にボッチャ体験をさせていただきました。



交通安全功労団体として表彰を受けました

昨年11月、草津栗東地区交通安全推進大会において本校が交通安全功労団体として表彰を受けました。これは、多年にわたり交通安全の高揚と普及に尽力した学校として顕彰されたものです。地域の方、保護者のみなさん、教職員の登下校の立哨や児童の自転車の安全運転を競う大会への参加等が評価されたものだと思います。これからも子どもたちの安全を見守るとともに、子どもたち自身の交通安全への意識を高める活動を続けていきたいと思ひます。

